

重点施策 豊かな人間性の育成	<table border="1"> <tr> <td>評価実施者</td> <td>所属</td> <td>教育支援課</td> </tr> <tr> <td></td> <td>職・氏名</td> <td>課長 吉川 修</td> </tr> </table>	評価実施者	所属	教育支援課		職・氏名	課長 吉川 修
評価実施者	所属	教育支援課					
	職・氏名	課長 吉川 修					

重点施策の概要	目的	子どもの発達段階に応じた、規範意識や公正な判断力、粘り強くたくましく生きる力、自他の生命を尊重する心、共に助け合って生きることの体得など、基本的な倫理観を身に付けさせるとともに、郷土に愛着を持ち、郷土で育ったことに幸せと誇りを持って語ることができる、日本や世界で活躍する子どもを育成します。
	今年度の主要事業	①道徳教育の推進 ②心の教育推進事業の充実 ③読書活動の充実

事業の目標と実績	区分		単位	H21	H22	H23	特記事項
	1	小学生が将来の夢や目標を持っている	目標 実績	%	上回る 81.6	上回る 81.6	
2	中学生が将来の夢や目標を持っている	目標 実績	%	上回る 66.6	上回る 64.3	上回る 70.3	
3	小学生 いじめはあってはいけないと思う	目標 実績	%	95.0 95.0	94.3 93.7	93.8 95.8	全道の平均を上回る
4	中学生 いじめはあってはいけないと思う	目標 実績	%	84.1 84.1	89.5 88.0	89.2 86.7	全道の平均を上回る
5	小学生が家や図書館で一日30分以上読書する	目標 実績	%	33.4 23.9	33.7 31.6	31.5 29.8	全道の平均を上回る
6	中学生が家や図書館で一日30分以上読書する	目標 実績	%	29.7 28.6	30.4 24.2	30.5 25.2	全道の平均を上回る
7		目標 実績					

事業の分析効果の検証	① 道徳教育の推進 ・・・児童生徒に生命を大切にする心や思いやりの心、倫理観や規範意識、忍耐力、社会性などを育む道徳教育の充実が図れた。また、研究授業や実践発表会を通じて教職員の道徳授業の向上が図れた。 ② 心の教育推進事業の充実 ・・・いじめや不登校など児童生徒の問題行動の実態把握、早期発見・早期対応を図るため、スクールカウンセラーや学びサポーターなど人的配置を効果的に活用して未然防止を図った。さらに教育相談体制を確立して未然防止のための情報共有を学校と連携した取り組み、きめの細かい支援を行った。 ③ 読書活動の充実 ・・・児童生徒に読書の習慣化を図るため、図書館と連携して朝読書や学級文庫など読書活動の充実を図った。
------------	--

課題	○いじめのない学校づくりを進めるため、児童生徒が自ら活動すること、いじめ撲滅や仲間づくりが広がるよう取り組む必要がある。 ○道徳の時間において、心に響く資料の開発や活用を行い指導の工夫を講じるとともに、保護者や地域の方の支援を得た指導となるよう積極的に授業公開を図る必要がある。 ○学校図書館の資料整備を図るとともに、司書教諭や図書館担当教員を中核とした指導体制の充実を図る必要がある。
----	---

評価	B	評価の視点1 期待どおりの効果があったか いじめは必ず起こりうるが、「いじめはあってはいけないこと」の意識は、100%になるよう道徳指導や児童生徒の主体的活動を一層推進しなければならない。 評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の余地があるか いじめ実態調査は、アンケートや個別の教育相談を通じて把握しているが、さらに子どもたちからの情報や訴えを的確に得るためのアンテナづくりを充実することが必要である。
----	----------	--

【評価の区分】

- A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	来年度も引き続き実施し、さらに成果を上げるよう事業を推進する。 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピートアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
-----------	--

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	・青年団体など、社会教育関係との連携も模索してみてもどうか。 ・道徳授業については、全道でも意識が高い。 ・生徒会レベルの活動や子ども会議などの効果が出ることも期待する。
---------------	---